

特別活動（ホームルーム）指導案

平成 30 年 11 月 8 日（木） 5 校時（13:35～14:25） 多目的室 指導者 滝波 洋子

1 題材名 「今、身に付けておきたいこと－信頼のある社会人になるために－」

2 題材観

本題材は、高等学校学習指導要領第 5 章特別活動 第 2 各活動・学校行事の目標及び内容〔ホームルーム活動〕 2 内容（3）学業と進路 ア「学ぶことと働くことの意義の理解」に当たるものである。

企業の目的は利潤の追求だけではなく、社会貢献と言われている。企業で必要な人材となるためには、働くことの意義を理解することが必要である。働くことの意義の理解を通して、社会人として基本となる信頼についての理解を深めさせたい。信頼のある人間は、どのような企業にとっても必要な人材である。きまりを守ること、挨拶やマナーを身に付けること、周りとのコミュニケーションが取れること、新しい情報や知識を常にもつ姿勢があることなどが、信頼のある社会人になるために身に付けてほしいことであると考えます。

生徒の中には、「学校では勉強だけすればよい」「なぜ学ぶのか分からない」といった考えが存在している。授業や学校行事の中で培われる規範意識などは、信頼される社会人としての基礎的な力である。社会の一員としての必要な能力や態度を学校生活で身に付けられる意義を理解させたい。

3 研修との関わり

長期社会体験研修では、店舗にて銀行業務について学ぶとともに、研修所において各種行員研修に参加している。特に、行員研修については、研修制度がきめ細かく計画されており、各階層別研修と業務別研修が行われている。そこでは、「コンプライアンス（法令等遵守）」と「CS（顧客満足）」についての研修が毎回のように盛り込まれ、繰り返し意識付けが行われている。コンプライアンスについては、信頼される銀行であるために、きまりを守ることが徹底させ、またお客様のために何ができるかを常日頃から考えさせ、業務改善の意識をもたせている。生徒の学校生活においても、きまりを守ることや他者のためを思うことはとても大切である。それによって、生徒の学校生活がより充実したものとなり、社会的自立や働きがいにつながり、将来充実した人生を送ることにつながると考える。

4 指導方針

- (1) 得意なことを更に伸ばすために、新たな可能性を発見させる。
- (2) 行員研修で取り入れられていた「3人のレンガ職人の話」や「解決志向アプローチ」を用いて、働く意義と信頼される人としてどのような行動をこれからする必要があるかを考えさせる。
- (3) 行員研修で取り入れられていた「アイスブレイク」を取り入れ、授業に対する興味・関心をもたせるようにする。

5 評価規準（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

評価規準	集団活動や生活への関心・意欲・態度	
	集団の一員としての思考・判断・実践	働くことの意義について、グループでの話し合いを通して思考することができ、学校生活における自らの行動を振り返り、今後の行動について改善する意思をもっている。
	集団活動や生活についての知識・理解	他者と働くことの意義、信頼について理解している。

時間	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
	知識・理解	思考・判断・実践	
事前の活動		・自らの行動を認識する。	・事前アンケートを実施する。
本時の活動	・働く意義について理解する。 ・信頼される人について理解する。	・社会人として求められる資質を考える。	・教師の話聞く。 ・アイスブレイクを行う。 ・働くことの意義について考える。 ・信頼される人について考える。
事後の活動	・今、身に付けておきたいことを理解する。	・自らを振り返り、改善点を考え、今後の行動に結び付ける。	・解決思考アプローチを用いた振り返りシートをまとめ、信頼される人となるために今からできることを考える。

6 本時の学習指導

(1) 目 標 「信頼される社会人になるために今からできることを考える」

(2) 準 備 【教員】資料、プレゼンテーションソフト、ワークシート 【生徒】：筆記用具

(3) 展 開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価) (太字はキャリア教育との関わり)
<導入> 1 自己紹介を聞く。 2 指体操 (アイスブレイク) をする。 3 「将来、働いたときに職場でどのような人になりたいと思いますか？」を考える。	10分	・アイスブレイクを実施し授業への興味をもたせる。 ・本時のねらいを意識させ、働く意義と関連させる。また、学校生活で、今、身に付けるべき力と信頼の関係性について関心をもたせる。
<展開> 4 銀行業務や信頼・信頼の大切さを知る。 5 群馬銀行についてのクイズを5問出し、銀行業務や企業で働くことに興味をもつ。友人と相談しながら回答を考える。 — 予想される生徒の反応 — ・銀行の仕事内容を知らなかった。 ・銀行も頭髪や服装の決まりがあるんだ。	10分	・事前アンケートの結果を基に銀行業務について説明する。 ・群馬銀行や働くことに興味をもてるようにクイズ形式で説明し、銀行が求める信頼される人について関心をもたせる。 ・学校生活と同じようなきまりが銀行にもあることに気が付かせるような声掛けを行う。
		・働く意義について考え、そこから信頼される人について考えることを伝える。 ・各テーブル3人 (グループ) の役割を決め、担当のレンガ職人のセリフを相手が分かりやすいように伝えるよう指示する。

<p>6 各グループでレンガ職人の働く様子を伝え合い、3人のレンガ職人の働く目的を考える。</p> <p>7 グループで「あなたが家を建てるとしたら、この3人のうち誰に頼みたいですか？その理由も記入しましょう。」を考える。</p> <p>8 グループで「自分がレンガ職人として働くことになった場合、3人の誰と一緒に働きたいですか？その理由も記入しましょう。」を考える。</p> <p>9 同じグループの人たちに、一緒に考えてくれたお礼を伝える。</p> <p>10 10年後のレンガ職人を知る。</p> <p>11 個人で「将来、あなたは3人目のレンガ職人のようになれそうですか？そのために、今からどのようなことを心掛けて学校生活を送るとよいと思いますか。」を考える。</p>	20分	<ul style="list-style-type: none"> • 3人の話を聞いたあと働く目的についてグループで考えさせる。 • 1、2グループに発表させる。 • 各グループで具体的な理由まで考えさせる。 • 1、2グループに発表させる。 • 各グループで具体的な理由まで考えさせる。 • 1・2グループに発表させる。 • 一緒に話し合った人たちに感謝の気持ちを伝えるように指示する。 • 3人目のレンガ職人は、他者のためを思って働いたことが、信頼される人となり、活躍できたことを伝える。 • 3人のレンガ職人を紹介したが働く目的に正否はないことを伝える。 • 事前アンケートを表示し、今から学校生活でどのようなことを心掛けたらよいかを個人で考えさせる。 • 生徒が考えた内容は、信頼される人の行動につながることを伝え理解を深めさせる。 <p>◇働くことの意義と、信頼される人になるために今からできることについて考えられている。(観察・ワークシート)</p> <p style="text-align: right;">(自己理解・自己管理能力)</p>
<p><まとめ></p> <p>12 群馬銀行員からのメッセージを聴く。</p> <p>13 次時に、振り返りシート記入することを理解する。</p> <p>14 クイズ！群馬銀行で紹介した「語先後礼」の挨拶を行う。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> • 群馬銀行員からのメッセージを読み上げ、信頼される人はどの企業からも求められる人材であることを伝える。 • 次時では、具体的にこれからの学校生活で何をしたらよいかを記入してもらうことを伝える。 • 信頼される人になるための、小さなよい変化が、学校生活をより充実したものにすることを伝える。 • 「語先後礼」を実際に行い丁寧な挨拶を意識させる。